

自民党議員団が推し進めてきた 自治会等の活性化条例成立!

(地域コミュニティ活性化推進条例)

平成22年度の歳出決算の全会計合計は
1兆6,219億8,400万円に。

全会計の歳出決算規模

一般会計	7,673億 3,500万円
特別会計	5,989億 1,900万円
公営企業会計	2,557億 3,000万円
全会計合計	1兆6,219億 8,400万円

一般会計

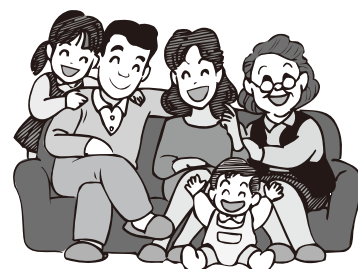
歳入総額	7,714億 3,100万円
歳出総額	7,673億 3,500万円
歳入歳出差引額	40億 9,600万円
翌年度に繰り越すべき財源	33億 6,500万円
(繰越事業費-未収入特定財源)(172億8,300万-139億1,800万)	
実質収支	7億 3,100万円
単年度収支	+17億 8,200万円

公営企業会計 歳出決算規模

病院事業	159億 9,000万円
水道事業	516億 100万円
公共下水道事業	996億 4,600万円
自動車運送事業	217億 8,400万円
高速鉄道事業	667億 900万円
公営企業会計合計	2,557億 3,000万円

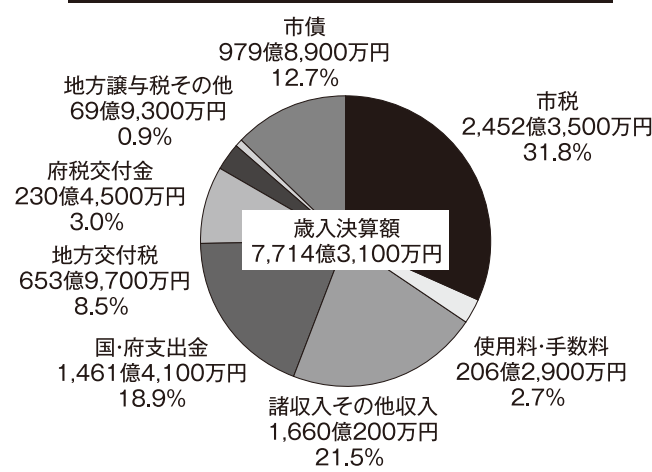
特別会計 歳出決算規模

国民健康保険事業	1,435億 3,900万円
介護保険事業	959億 5,600万円
後期高齢者医療	145億 9,900万円
基金	541億 1,600万円
市公債	2,693億 9,600万円
その他	213億 1,400万円
特別会計合計	5,989億 1,900万円

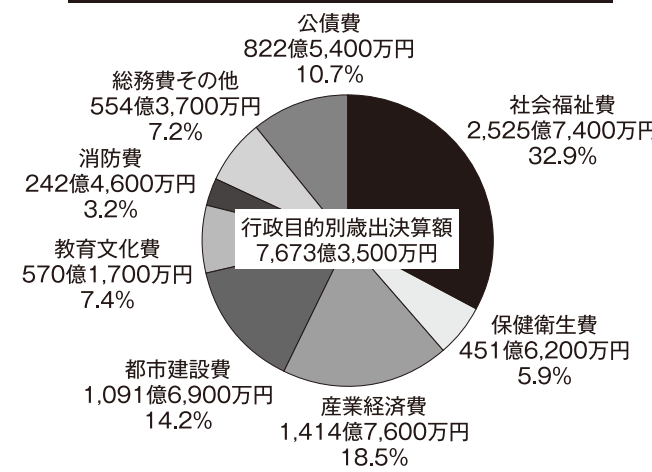


※百万円未満を端数処理しているため、合計の一致しない箇所があります。

平成22年度 一般会計決算歳入決算の内訳



平成22年度 一般会計決算歳出決算の内訳



自由民主党京都市会議員団 市会報 出口 Vol.4

9月定例会は、9月27日から10月31日まで開かれ、市長提出議案42件、議員提出議案12件を審査し、53件について認定・可決しました。市長提出議案のうち、平成22年度各会計決算について、平成22年度の予算審議時に「自民党議員団の厳しい質疑」と当時話題になりましたが、その甲斐もあつてか一般会計では3年ぶりに単年度黒字を計上し、また市バス、地下鉄等を含めた連結決算に於いても、行政の危機意識が高まった事により改善が見られました。しかしながら、まだまだ厳しい状況は続いており、自民党議員団は市会第一党としての責務を果たすべくさらに議論を深めて参ります。

地域医療をリードする意見書作成

- 政府が進める「受診時に患者に負担を求める制度」に反対する(京都府医師会・京都府歯科医師会と連携)
- ワクチン等定期接種に関し、早期に国の制度確立を求める(京都府医師会と連携)

さまざまな課題について門川市長に提案!

市長総括質疑での主な質疑内容(一部抜粋)

- ◎平成23年度予算編成において試験的に実施された新予算編成システムの平成24年度予算での本格導入
- ◎大震災の教訓として生ごみを利用したバイオガスの発電による災害時の電力確保等先進的な取組の推進
- ◎経営の効率化が求められている中で地下鉄利用客の安心安全を確保するための転落防止柵設置に向けた検討
- ◎上七軒無電柱化事業において地元要望を踏まえての面的整備の必要性
- ◎土木事務所での夜間緊急電話受付業務の随意契約見直しの考え
- ◎「世界一美しいまち・京都」の推進をしているにもかかわらず午後になってもごみ袋が町に山積みになっている状況の指摘
- ◎大規模災害時に迅速対応可能な本市在住OB職員のボランティアとしての活用
- ◎地域の実情や空き店舗等を活かした既存商店街の復興による商業振興
- ◎度重なる配水管破裂事故を起こしている西京区内における計画より早い布設替えの達成
- ◎中央卸売市場からの生ごみを利用した小規模低コストのバイオガス化施設の検討
- ◎河川整備の遅れにより被害に遭う生産農家に対する認識
- ◎宝が池公園球技場の劣悪な人工芝の現状把握と適正な優先順位に基づく早急な回収の対応
- ◎プール制の人員配置基準を守った児童福祉施設の設備及び運営に関する基準の条例化の検討
- ◎きものKYOTOアンテナショップ事業のコスト感覚に対する市長の見解
- ◎歩道改修事業との一体的実施等旧市電路線の舗装の効率的実施
- ◎違反屋外広告物に対する行政代執行も辞さない強い決意

決算特別委員会での主な質疑内容(一部抜粋)

決算特別委員会第一分科会

- ◎公平性の観点からの太陽光発電システム設置困難地域に対するLEDランプ購入助成制度の検討
- ◎バイオガス化技術実証事業に要した費用、技術の確立及び今後の展開
- ◎持続可能性の高い社会の構築のための市民のライフスタイルの転換とそのための行政の役割
- ◎南部クリーンセンター第二工場建替の計画予定及び地元との十分な協議のものと実施
- ◎関係局連携のもと入札方法を決定する際の地元企業受注率向上に向けた行財政局のリーダーシップの必要性
- ◎区役所等窓口業務を行う職員に対する継続的な市民対応研修の実施
- ◎岡崎地域活性化検討に当たってのアクセスの利便性向上策の内容
- ◎久我・久我の社・羽束師地域のまちづくりの将来展望と神川出張所の業務内容の拡大推進
- ◎路上喫煙等禁止区域の全市域的な拡大及び喫煙場所の確保の検討
- ◎四条通など繁華街の歩道拡幅と公共交通のみの優先化で懸念される一般車渋滞やCO₂増、物流支障による地域経済への悪影響等に対する取組
- ◎市内周辺部地域の実情と現代の真の需要と供給に応じた特色ある商店街の活性化
- ◎「伝統産業の日」10周年記念事業におけるこれまでの課題を踏まえた事業の充実
- ◎有害鳥獣被害防止対策の充実
- ◎宅地化が進む地域における農業用水路を管理する地元農業団体への支援

決算特別委員会第二分科会

- ◎新定義による待機児童をなくすとともに旧定義による待機児童についても入園可能とする努力
- ◎耐震改修が必要な保育所数及び増改築も含めた改修率向上の取組
- ◎介護予防安心住まい推進事業の有効活用に向けた周知の徹底
- ◎エイズ患者数の減少しない原因及び他国の取組成果を踏まえた実効性ある対策の必要性
- ◎岡崎地域の高さ規制を始め京都市全体で景観政策を検証する必要
- ◎京都マラソンも踏まえた「歩くまち・京都」総合交通戦略におけるノーマイカーの取組の推進
- ◎まちの匠の意見やパブリック等を取り入れた付加価値のある建築物の耐震対策
- ◎ターミナル周辺での歩道を利用した駐輪場整備の更なる推進
- ◎認定道路基準緩和の方向性及び都市計画局との連携による災害に強いまちづくりの考え
- ◎市民生活にふさわしい道路としての機能維持のため私道に対し積極的に援助を行う考え
- ◎無電柱化事業の確実な進捗のための整備地区順位見直しの必要性
- ◎ジュニア京都検定の活用など伝統文化教育の一層の充実
- ◎地域の安心安全全般にわたるスクールガードリーダーの寄与
- ◎科学の発展に寄与する民間企業の活力を導入しての青少年科学センターの運営
- ◎避難勧告発令時の学校対応マニュアル整備の必要性

決算特別委員会第三分科会

- ◎今年度の火災発生件数増加理由と住宅用火災警報器設置の奏功事例
- ◎消防団器具庫の耐震改修の推進
- ◎災害用備蓄物資に水がないことへの懸念と災害時の対応
- ◎自主防災活動のマンネリ化防止策としての東日本大震災の教訓の訓練への反映
- ◎帰宅困難者及び観光客に対する災害時支援の充実と情報伝達手法の工夫
- ◎バス停の魅力向上のための時刻表改善に係る更なる工夫
- ◎周辺の環境の変化に対応可能な市バス路線再編のための調査の実施
- ◎通学フリー定期券の中・高校生への対象拡大
- ◎駅ナカビジネスの今後の展開
- ◎経営健全化の今後の見直し及び経営健全化達成に向けての決意
- ◎鉛製給水管布設工事掘削箇所の土木事務所との連携による速やかな本復旧
- ◎危機管理計画における西京区配水管漏水事故対応についての検証
- ◎雨水貯留施設の普及による浸水対策の取組強化
- ◎地下街の雨に強い浸水対策と総点検の推進
- ◎東日本大震災後の災害備蓄品の保有量見直しの検討状況



北 区
小林 正明



北 区
山本 恵一



上京区
中村三之助



上京区
寺田 一博



左京区
大西 均



左京区
桜井 泰広



中京区
加藤 盛司



中京区
津田 大三



東山区
内海 貴夫



山科区
富 きくお



山科区
吉井あきら



下京区
下村あきら



南 区
椋田 隆知



南 区
島本 京司



右京区
井上 与一郎



右京区
田中 英之



右京区
山元 あき



西京区
田中 明秀



西京区
西村 義直



伏見区
高橋 泰一朗



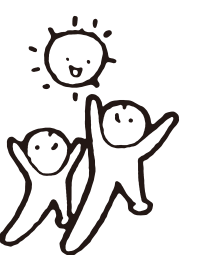
伏見区
繁 隆夫



伏見区
橋村 芳和



伏見区
中川 一雄



私たち自民党市会議員団に
皆様のご意見やご要望をお寄せください。

自民党
京都市会議員団

TEL 075-222-3718 FAX 075-257-3091

〒604-8571 京都市中京区河原町御池
http://jimin-kyoto.jp/ Eメール:jimin3@nifty.com